

## 最近の機械貿易動向(8月)～機械輸出伸び率 12ヶ月連続でプラス～

日本機械輸出組合 2015.10.15.

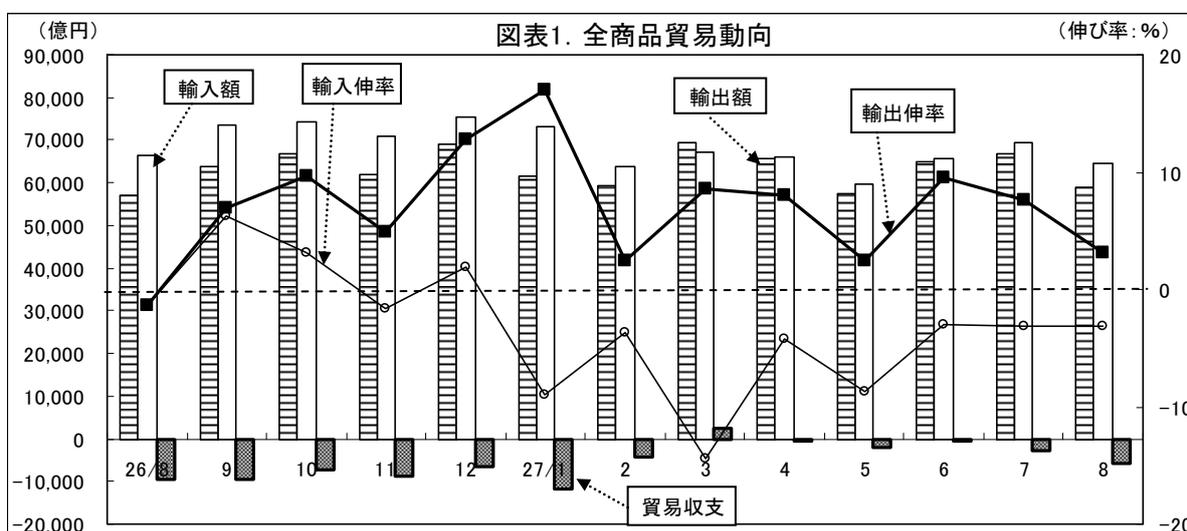
平成27年8月の機械輸出額は3兆7,245億円、対前年同月比3.4%増と、12ヶ月連続でプラス成長となった。これは、①対ドルで円安傾向が続いていること、②自動車、産業機械、電子デバイス等がプラスになったことなどによる。為替要因が11.6%の増加要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は7.3%減と3ヶ月連続でマイナスとなった。9月の為替・営業日要因は2.9%の増加寄与要因となっているが、10月8日発表の貿易統計速報によれば9月上中旬の全商品輸出は5.1%増であった。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は12ヶ月連続でプラスも 伸び率低下～

1) 平成27年8月の全商品輸出額は**5兆8,818億円**、前年同月比(以下同じ)**3.1%増**と12ヶ月連続でプラス成長となった(7月7.6%増)。これは、全輸出額の約19%を占める一般機械(0.5%減)や、13%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(3.1%減)がマイナスとなったものの、22%の自動車等輸送用機器(9.5%増)等が大きく増加したためである。

2) 輸入額は**6兆4,512億円**、**3.1%減**と8ヶ月連続でマイナスとなった(7月3.2%減)。これは、全輸入額の約10%を占める医薬品等化学製品(24.8%増)、14%の電気機器(14.9%増)、9%の一般機械(17.6%増)は増加したものの、約24%を占める原粗油等鉱物性燃料(29.9%減)が原油価格下落で大幅に減少したことによる。

3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、5,694億円の赤字となった(7月は2,684億円の赤字)。

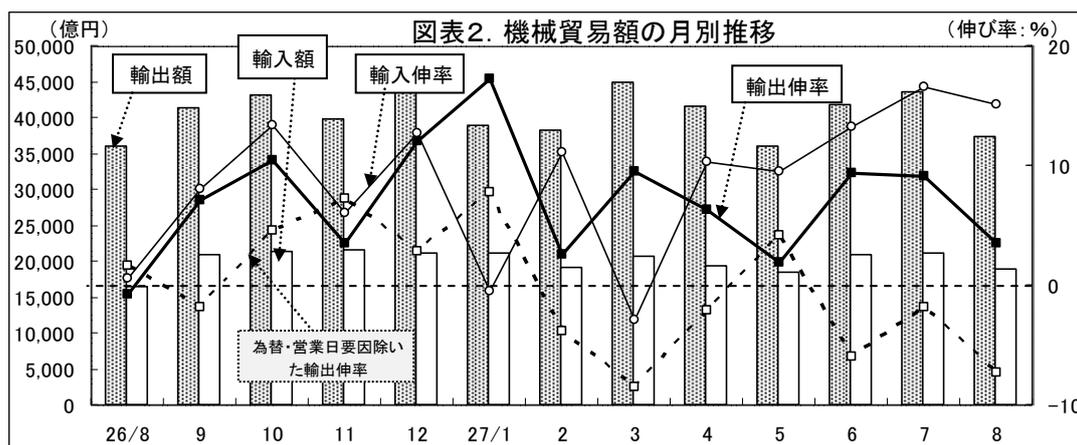


### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～輸出は12ヶ月連続プラスも8月伸び率急減～

1) 全商品輸出額の約63%を占める8月の機械輸出額は**3兆7,245億円**、**3.4%増**と12ヶ月連続で拡大し、(7月9.1%増)、輸出額の水準は、リーマンショック前(2008年8月)と比べると**82.6%**となり、前月に比べて4.1ポイント悪化した(7月86.7%)。

2) 一方、全商品輸入額の約29%を占める機械輸入額は、**1兆8,875億円**、**15.1%増**と5ヶ月連続でプラスとなった(7月16.5%増)。リーマンショック前(2008年8月)の水準と比較しても21.8%増となっている。

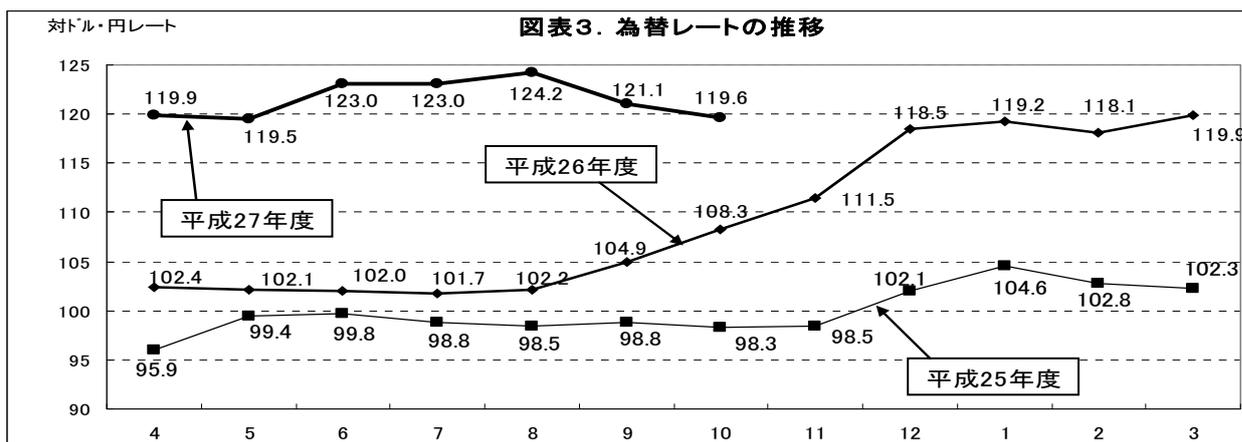


**(2) 為替動向・営業日～8月は11.6%の増加要因、9月は約2.9%の増加要因～**

1) 8月は1ドル=124.2円となり、前年に比べ21.5%の円安となった。また、対ユーロは136.4円と前年に対して0.5%の円高となり、合わせて約11.6%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で11.6%の増加要因となる。8月の輸出額は3.4%増であったことから、実質的伸び率は7.3%減と3ヶ月連続でマイナスとなった(7月1.9%減)。

2) 9月は1ドル=121.1円で前年比15.4%の円安、対ユーロでは136.2円で前年比0.9%の円高となり、合わせて約8.3%の為替増加要因となった。営業日は前年より1日少ないため、5.0%の減少要因となり、合計で約2.9%の増加要因となる。

3) 10月は、対ドルが10月14日17:00時点の119.6円とすれば、前年に比べて10.4%の円安、また、対ユーロは136.5円で1.2%の円高となり、合わせると約5.5%の為替増加要因となる。営業日は前年より1日少ないため、4.5%の減少要因となり、合計で約0.8%の増加要因となる。



**(3) 地域別動向～韓国・台湾、北米向けが二桁成長の一方、中国、EU向けがマイナス～**

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、最も伸びたのが、①10.0%を占める韓国・台湾向けで、産業機械(27.1%増)、電子デバイス(30.9%増)、自動車(16.3%増)等が大幅に増加して11.6%増となった。②次に伸びたのは、25.0%を占める最大輸出先の北米向けで、全体の47%を占める自動車(14.5%増)をはじめ、産業機械(7.3%増)、航空機部品(13.3%増)等が増加して10.7%増となり、③15.4%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(9.1%減)、タイ(5.8%減)等が減少したものの、パキスタン(37.0%増)、ベトナム(16.8%増)、フィリピン(13.3%増)等が大幅なプラスとなり、業種では、全体の21%を占める産業機械(3.1%減)、電子デバイス(10.5%減)等がマイナスとなったものの、24%の自動車(12.8%増)が大きく増加して2.2%増となった。④16.7%のその他地域向けは、ロシア東欧等(36.2%減)向けが大幅に減少したものの、中近東(21.4%増)向けが大きくプラスとなり、機種では61%を占める自動車(1.3%増)や船舶(46.2%増)、産業機械(6.9%増)がプラスとなって2.2%増となった。

2) 他方、減少したのは、①21.9%を占める中国向けで、全体の18%を占める産業機械(5.8%増)が増加したものの、15%の自動車(6.5%減)や光学機械(11.3%減)、重電気機械(10.3%減)等が減少して2.9%減となり、②11.0%のEU向けでは、33%を占める自動車(5.3%増)が増加したものの、17%を占める産業機械(12.2%減)や軽電気機械(9.6%減)等がマイナスとなって、1.6%減となった。

3) また、リーマンショック前の2008年8月の地域別輸出額と比較すると、北米向けが100%を超えたものの、ASEAN・南アジア、中国向けが90%台、韓国・台湾向けが80%台、その他地域向けが60%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2015/6			2015/7			2015/8			対08年 8月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	41,827	9.4	100.0	43,621	9.1	100.0	37,245	3.4	100.0	0.83
北米	10,813	16.4	25.9	11,225	18.0	25.7	9,303	10.7	25.0	1.01
中国	8,855	9.2	21.2	9,110	5.0	20.9	8,162	▲ 2.9	21.9	0.92
ASEAN・南アジア	6,257	5.6	15.0	6,314	5.2	14.5	5,737	2.2	15.4	0.98
EU	4,657	8.9	11.1	5,088	11.4	11.7	4,103	▲ 1.6	11.0	0.58
韓国・台湾	4,289	23.9	10.3	4,195	19.8	9.6	3,715	11.6	10.0	0.83
その他	6,956	▲ 3.2		7,689	▲ 0.5	17.6	6,226	2.2	16.7	0.65

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2015/5		2015/6		2015/7		2015/8	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,796	4.1	2,067	20.8	2,006	19.5	1,722	3.0
台湾	1,973	22.3	2,222	26.9	2,188	20.0	1,992	20.3
<b>ASEAN・南アジア</b>								
タイ	1,410	▲ 7.0	1,605	▲ 0.4	1,775	8.9	1,494	▲ 5.8
シンガポール	884	17.3	1,073	9.9	886	▲ 7.0	917	▲ 1.3
インドネシア	630	▲ 12.3	633	▲ 27.4	701	▲ 14.3	670	▲ 9.1
マレーシア	629	▲ 6.9	733	▲ 0.7	776	6.3	671	5.1
フィリピン	622	21.0	658	11.9	620	3.4	571	13.3
ベトナム	617	34.5	670	50.1	675	29.5	631	16.8
インド	353	4.9	406	17.2	421	13.1	369	1.1
パキスタン	111	▲ 6.4	126	16.3	136	20.1	132	37.0
<b>その他地域</b>								
中南米	1,923	▲ 7.5	2,048	▲ 15.3	2,390	3.7	1,970	1.9
中近東	1,533	▲ 6.8	2,188	22.3	2,172	5.0	1,820	21.4
大洋州	1,082	18.6	1,283	18.7	1,646	30.9	1,137	8.5
ロシア東欧等	696	▲ 34.1	782	▲ 32.9	845	▲ 31.4	675	▲ 36.2
アフリカ	551	▲ 7.4	668	9.8	651	▲ 25.0	592	4.9

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中マイナスは9業種、船舶、通信機械等4業種が二桁の伸び～

- 1)業種別では、全21業種中9業種がマイナスとなり、前月より6業種増加した。業種では、全体の約33%を占める自動車(6.7%増)が3ヶ月連続、18%の産業機械(5.2%増)が12ヶ月連続、9%の電子デバイス(3.9%増)が13ヶ月連続のプラスとなり、この他、船舶(32.3%増)、通信機械(18.6%増)、農業機械(13.5%増)、鉄道車両(56.3%増)が二桁の成長となって、機械全体で3.4%増となった。
- 2)この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、軽機械、農業機械、繊維機械、医療機械、ベアリングの7業種で前月より1業種減少し、他方、電子計算機、民生用電子機械が40%台、産業車両、建設機械が50%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2015/6			2015/7			2015/8			対08/8比		
	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額		伸び率	シェア
自動車	15,000	12.2	35.9	自動車	15,555	7.4	35.7	自動車	12,396	6.7	33.3	0.85
産業機械	7,128	12.4	17.0	産業機械	7,309	13.1	16.8	産業機械	6,551	5.2	17.6	0.88
電子デバイス	3,307	15.1	7.9	電子デバイス	3,401	9.0	7.8	電子デバイス	3,361	3.9	9.0	0.77
軽電気機械	2,085	7.8	5.0	軽電気機械	2,259	9.9	5.2	軽電気機械	2,008	5.3	5.4	0.82
重電気機械	2,000	6.1	4.8	重電気機械	2,103	1.5	4.8	重電気機械	1,858	▲ 3.8	5.0	0.91
軽機械	1,654	10.1	4.0	民生用電子機械	1,762	20.7	4.0	軽機械	1,527	▲ 0.1	4.1	1.16
民生用電子機械	1,584	11.9	3.8	船舶	1,756	30.1	4.0	民生用電子機械	1,515	0.3	4.1	0.46
光学機械	1,358	▲ 2.9	3.2	軽機械	1,734	9.3	4.0	光学機械	1,311	▲ 11.5	3.5	0.98
船舶	1,296	▲ 6.8	3.1	光学機械	1,371	▲ 7.4	3.1	船舶	1,106	32.3	3.0	0.70
建設機械	1,070	5.0	2.6	工作機械	963	▲ 3.1	2.2	建設機械	830	▲ 10.0	2.2	0.58
工作機械	989	▲ 0.4	2.4	建設機械	944	▲ 3.7	2.2	工作機械	750	▲ 23.2	2.0	0.98
航空機部品	868	23.0	2.1	航空機部品	853	23.6	2.0	航空機部品	711	5.6	1.9	1.96
通信機械	593	21.7	1.4	通信機械	585	27.5	1.3	通信機械	586	18.6	1.6	0.69
電子計算機	461	0.2	1.1	電子計算機	463	13.4	1.1	電子計算機	449	4.5	1.2	0.44
医療機械	449	9.7	1.1	ベアリング	449	7.4	1.0	医療機械	410	9.4	1.1	1.07
ベアリング	432	8.1	1.0	医療機械	448	10.6	1.0	ベアリング	374	▲ 2.4	1.0	1.07
陸用内燃機関	339	▲ 5.3	0.8	陸用内燃機関	393	7.1	0.9	陸用内燃機関	329	▲ 3.5	0.9	0.89
繊維機械	177	▲ 15.6	0.4	農業機械	201	5.1	0.5	農業機械	207	13.5	0.6	1.10
農業機械	168	▲ 19.3	0.4	繊維機械	188	4.9	0.4	繊維機械	175	▲ 13.0	0.5	1.08
産業車両	131	▲ 2.5	0.3	産業車両	131	1.2	0.3	鉄道車両	114	56.3	0.3	1.28
鉄道車両	112	182.7	0.3	鉄道車両	114	105.0	0.3	産業車両	109	▲ 2.1	0.3	0.52
21業種合計	41,201		98.5	21業種合計	42,981		98.5	21業種合計	36,566		98.2	0.83

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5)機種別動向～鉄道車両、半導体製造装置等が大幅のプラス、デジカメ・ビデオ等が大幅減～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種は、①韓国・台湾、中国向け**鉄道車両**(56.3%増)、②韓国・台湾、中国向け**半導体製造装置**(48.4%増)、③中国、北米、ASEAN・南アジア向け**受信変換・その他送受信**(35.5%増)、④北米、ASEAN・南アジア向け**磁気カード・ディスク等**(32.8%増)、⑤その他地域、ASEAN・南アジア向け**船舶**(32.3%増)、⑥中国向け**通信機械部分品**(20.3%増)、⑦北米、中国、ASEAN・南アジア向け**発電機**(18.6%増)、⑧北米、EU 向け **TV**(18.3%増)、⑨その他地域向け**貨物自動車**(18.2%増)、⑩北米、中国、EU 向け**産業用ロボット**(18.0%増)であった。
- 2)一方、最も落込み幅が大きいのが、デジカメ・ビデオ(27.8%減)、工作機械(23.2%減)等であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2015/6			2015/7			2015/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	112	182.7	鉄道車両	114	105.0	鉄道車両	114	56.3
通信機械部分品	278	55.6	半導体製造装置	1,391	55.9	半導体製造装置	1,335	48.4
半導体製造装置	1,439	45.3	通信機械部分品	252	44.9	受信変換その他送受信機器	166	35.5
発電機	116	24.3	発電機	117	39.6	磁気カード・ディスク等	189	32.8
航空機部品	868	23.0	船舶	1,756	30.1	船舶	1,106	32.3
風水力機械	829	22.7	産業用ロボット	168	28.1	通信機械部分品	249	20.3
デジカメ・ビデオ	430	18.9	デジカメ・ビデオ	465	27.7	発電機	96	18.6
乗用車	9,216	16.6	印刷・製本機械	1,023	24.8	TV	117	18.3
電子デバイス	3,307	15.1	TV	120	24.6	貨物自動車	852	18.2
電動機	162	14.8	航空機部品	853	23.6	産業用ロボット	139	18.0
機種合計	16,757	* 40.1%	機種合計	6,259	* 14.3%	機種合計	4,363	* 11.7%

は、2ヶ月連続で上位機種 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合  
 通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等  
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター  
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機機器・部分品:重電機機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2015/6			2015/7			2015/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
農業機械	168	▲ 19.3	金属加工機械	276	▲ 21.9	デジカメ・ビデオ	295	▲ 27.8
繊維機械	177	▲ 15.6	その他の重電機機器・部分品	491	▲ 13.2	工作機械	750	▲ 23.2
機種合計	345	* 0.8%	機種合計	767	* 1.8%	原動力機械	302	▲ 20.8
						写真機の部分品・附属品	129	▲ 19.2
						繊維機械	175	▲ 13.0
						その他の重電機機器・部分品	417	▲ 11.8
						その他の光学機器	1,102	▲ 11.5
						電動機	130	▲ 11.2
						時計	99	▲ 10.3
						金属加工機械	273	▲ 10.1
						機種合計	3,672	* 9.9%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6)機械輸入動向～電子計算機、航空機・部品等、乗用車、携帯電話等が大幅増～

- 1)8月の機械輸入伸び率は15.1%増と5ヶ月連続でプラスとなった。輸入上位機種の電子デバイス(4.1%増)、電子計算機(21.4%増)に加え、航空機・部品等(14.5%増)や乗用車(14.7%増)、携帯電話(2.3倍)等が大きくプラスとなったことによる。
- 2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換・その他送受信、時計、通信機械部分品、TVとなっている。
- 3)地域別機械輸入額は、全体の40%を占める中国(19.5%増)、ASEAN・南アジア(19.8%増)、北米(7.6%増)、EU(7.9%増)、韓国・台湾(8.9%増)、その他地域(37.2%増)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2015/6				2015/7				2015/8			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,510	9.5	12.0	電子デバイス	2,626	20.2	12.5	電子デバイス	2,304	4.1	12.2
電子計算機	1,948	3.5	9.3	電子計算機	1,974	7.6	9.4	電子計算機	1,884	21.4	10.0
航空機・部品等	1,338	54.9	6.4	携帯電話	1,207	232.8	5.7	航空機・部品等	1,110	14.5	5.9
携帯電話	1,203	16.4	5.8	航空機・部品等	1,196	26.0	5.7	乗用車	1,071	14.7	5.7
自動車部品	1,141	11.3	5.5	自動車部品	1,182	11.3	5.6	自動車部品	1,031	7.1	5.5
白物家電	966	6.6	4.6	乗用車	840	0.4	4.0	携帯電話	830	129.4	4.4
乗用車	865	23.8	4.1	白物家電	804	▲ 2.2	3.8	白物家電	622	9.9	3.3
医療機械	623	7.5	3.0	医療機械	647	8.5	3.1	医療機械	620	12.0	3.3
配電機器	579	9.2	2.7	受信変換その他送受信	590	18.5	2.8	配電機器	525	15.5	2.8
受信変換その他送受信	573	7.9	2.8	配電機器	581	11.6	2.8	受信変換その他送受信	518	▲ 0.3	2.7
その他の配電制御装置	409	15.3	2.0	その他の配電制御装置	412	20.5	2.0	その他の配電制御装置	395	20.9	2.1
風水力機械	388	18.3	1.9	コンデンサー等部分品	396	6.0	1.9	コンデンサー等部分品	375	9.9	2.0
12機種合計	12,543		60.1	12機種合計	12,455		59.3	12機種合計	11,285		59.8

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械  
 ・受信変換その他送受信:ルーター、LANスイッチ等 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等